

令和2年第8回大竹市教育委員会

- 1 開催日時 令和2年8月17日(月) 13時30分開始
- 2 会場 大竹市役所4階第2会議室
- 3 出席及び欠席委員
- | | | |
|-----|------|----|
| 教育長 | 小西啓二 | 出席 |
| 1番 | 池田良枝 | 出席 |
| 2番 | 中田美穂 | 出席 |
| 3番 | 小出哲義 | 出席 |
| 4番 | 小城和之 | 出席 |
- 4 出席職員
- | | |
|--------|-------|
| 総務学事課長 | 真鍋和聰 |
| 総務学事課 | 重安千陽 |
| | 中川香代子 |
| | 浅井田展彦 |
| | 瀬川隆司 |
| | 尾崎明菜 |
| 生涯学習課長 | 三井佳和 |
- 5 説明員(令和2年度大竹市教科用図書選定委員会会長) 大橋綾子 ※日程第3のみ
(小方小学校・小方中学校校長)

.....
【開会時刻 13時30分】

小西教育長 定足数に達していますので、これより令和2年第8回大竹市教育委員会会議を開会します。

はじめに、議事録署名委員を指名します。議事録署名委員は、大竹市教育委員会会議規則第15条第2項の規定により、小城委員を指名します。

次に、会議の議事日程について確認します。お配りしているとおり予定していますが、日程第3及び日程第4で予定している議案第34号及び議案第35号は、静ひつな採択環境を確保した上で活発な議論を行えるようにするため、審議は非公開が適当ではないかと考え、発議します。

その他に意見はありませんか。

委員一同 なし。

小西教育長 それでは、本件を採決します。議案第34号及び議案第35号の審議を公開しないとすることに異議ありませんか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 異議なしと認めます。よって議案第34号及び議案第35号の審議は非公開と決定しました。

これより本日の日程に入ります。

日程第1「会期の決定について」を議題とします。今期定例会の会期を、本日8月17日一日限りとします。異議ありませんか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 異議なしと認めます。よって会期は本日一日間と決定しました。

議案第33号 職員の人事異動について

小西教育長 日程第2「議案第33号 職員の人事異動について」を議題とします。事務局から説明を求めます。

事務局 令和2年8月30日付けで行う職員の人事異動について説明します。

現在、実施している大竹会館改築事業の進捗により、8月31日から令和3年2月中旬頃まで大竹会館が休館となります。これに伴い、市民生活部市民税務課大竹支所の職員に対し発令している、教育委員会事務局生涯学習課の職務の併任を解くものです。

該当する職員は2名です。市民税務課大竹支所の住田実喜男支所長に発令している「教育委員会事務局生涯学習課主幹兼大竹会館」の併任について、また市民税務課大竹支所の森永明子主任に発令している「教育委員会事務局生涯学習課主任兼大竹会館」の併任について令和2年8月30日付けで解くものです。説明は以上です。

小西教育長 これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

委員一同 なし。

小西教育長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。本件を採決します。本件は原案のとおり可決することに異議ありませんか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

議案第34号 令和3年度大竹市使用中学校用教科用図書の採択について

小西教育長 日程第3 議案第34号及び日程第4 議案第35号の審議については、会議の冒頭で、公開しないことと決定しました。よって、これより非公開とします。なお、本2件の審議の内容については、他の案件と同様に議事録調製後に公開することとします。

～以下、議案第34号、議案第35号の審議は非公開（議事録は公開）～

日程第3 議案第34号「令和3年度大竹市使用中学校用教科用図書の採択について」を議題とします。なお、令和2年度大竹市教科用図書選定委員会会長の大橋綾子小方小学校・小方中学校校長に出席の上、説明していただくこととします。

事務局から説明を求めます。

事務局 新たな学習指導要領が実施されることに伴って、令和3年度から中学校で使用する教科書を選定する必要があります。教科書は「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第14条第1項」の規定により、使用する前年度の8月31日までに採択することとされているため、文部科学省発行の

「中学校用教科書目録（令和3年度使用）」に掲載されている教科書の中から令和3年度以降に使用する教科書を採択する必要があります。

本年第5回定例教育委員会において承認された「令和3年度大竹市使用教科用図書の採択基本方針」等に基づき、採択事務の過程を経て、大竹市教科用図書選定委員会から選定委員会が推薦する発行者とその理由、調査研究による全発行者の特徴を記載した「大竹市立中学校教科用図書採択のための調査研究について（答申）」が提出されました。この答申書には、選定委員会が推薦する発行者とその理由、調査研究による全発行者の特徴が記載されています。

本日は、この答申書について、1種目ずつ、選定委員会の会長であります、小方中学校の大橋校長から説明していただいたのち、この会議で十分審議し、理由を明確にした上で採択を行うものであります。

なお、答申では種目毎に発行者を推薦していますが、議案には採択の対象として全ての教科書及び発行者を掲載しています。あくまで採択は、採択権者である教育委員会が十分な審議をした上で行うこととなりますので、よろしくお願いたします。

なお、6月に実施した教科書展示会の会場において意見書箱を設置したところ、複数の意見が寄せられました。写しをお配りしていますので審議の際の参考にしてください。審議終了後に回収します。

小西教育長 種目ごとに選定委員会会長から答申について説明していただきます。まずは、「国語」と「書写」について説明をお願いします。

大橋選定委員会会長 「国語」につきましては「東京書籍（東書）」を選定しました。選定理由としては、単元の導入に生徒に興味・関心を持たせる工夫があり、具体的には生徒が興味を持ちそうな漫画が掲載されているんですけども、生徒自身が課題設定をしやすく、なおかつ、ただ楽しいだけでなく単元でつきたい力が明確に示されています。二つめ、作品例が学習の手順がそれぞれに示されていて、生徒がイメージを持ちやすく具体的でわかりやすいということです。三つめ、豊富な種類の図表等を扱っています。読解という視点で申し上げますと、今は読解のテキストとしては、図や表も十分読解のテキストとして必要なもので、そういった図表の役割を問う課題も設定されているので、図表の効果や特徴について考えることができ、これを言語活動に生かすことが可能です。最後に、知識技能に関わる文法についての学習ですが、これは教師の側の視点ですけども、説明と問いがセットになっていて授業の構成がしやすい。また、細かな使い分けが特集されており、紛らわしい文法を学ぶ生徒にとって非常に文法を抑える上で有効である、といったことが「東書」を選定した理由です。

「書写」の教科書は「東京書籍（東書）」を選定しています。選定理由としては、まず課題を「見つける」、その課題に基づいて文字を書いて「確かめる」、そして日常生活に「生かす」という三段階の過程が示されており、それぞれの過程で具体的にどのような学習をするのが学び手にとって明確で、生徒が活動の見通しが立てやすいことが理由です。二つめの理由としては、手本が平明な文字で示されており、中心線や補助線があり学ぶ生徒にとって学びやすい手

本であることが特徴です。28の教材についてデジタルコンテンツが用いられていて、動画で書き方が確認でき、いろいろな活用の仕方が考えられます。最後に、学ぶべきポイントが「書写のかぎ」という形で示されていて、学習者にとってどんな力をつけたら良いのかつきたい力が明確であるというのが三つめの理由です。

小西教育長　　これより「国語」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

池田委員　　「国語」と「書写」は同じ発行者の教科書にしないといけないのですか。

大橋選定委員会会長　　現在は別々の発行者の教科書を使用しています。別の発行者の教科書であっても指導する上で困ることはないと思っています。

池田委員　　最初「東書」が良いかと思っていたんですが、生徒に課題設定というか、自分で学習する力をつけるための道筋を示しているのは「光村図書出版（光村）」の方なのかなと思いました。「光村」は、「学習で「とらえる」、「読み深める」、「考えをもつ」と三段階で学習の進め方が丁寧に示されている」と答申に書いてあったんですが、「東書」も同様に「工夫があつて課題が設定しやすい」とありました。ですが、私は「東書」よりも「光村」のほうが、課題設定により自分で学習するという視点、特に「自学」が大事にされている時なので、自分で教科書を見ながらも学習を進めるには取り組みやすいのかなと思います。それと、漫画の部分については、今風だなと思いました。漫画の効果というのが国語的にどうなのかについてお尋ねしたいと思います。

大橋選定委員会会長　　「課題の設定の工夫」については、「光村」も遜色なく甲乙つけがたいというのが調査員の報告からもありましたし、選定委員会としても同意見です。漫画の効果については、最初私も疑問に感じたところはありませんでしたが、しっかり読んでみると国語というのはどうしてもつきたい力が曖昧で、この単元で何の力をつけるのかというのがやや曖昧になってしまいがちですが、生徒の視点から考えると国語に苦手意識を持つ生徒でも、例えば1年生の教科書にある「事実と考えを区別する」ということを、「今風に」という意見もあると思いますが、その単元での学習のねらいを生徒に意識させるという点では、使ってみないとわからないところはあるんですが、あながち漫画だから国語の学習にどうなのかという指摘については、影響はないのではないかと思います。逆に生徒に学ぶ意欲を持たせる、またつきたい力を明確にするという意味では効果的なのではないかなと思います。

中田委員　　「東書」は1年生の教科書で、広島についての題材に触れていたのが、身近で良いのではないかと感じました。また、「東書」は、古典の部分ですが現代文に訳しているのが何となく生徒にとって解釈しやすいのではないかと思います。

小出委員　　「東書」が良いのかなと思ったんですが、非常に色の使い方とかイラストも親しみやすく良いのかなと思いますし、項目ごとにページの色を変えてあったりとか、読書のコーナーでページの色だけを変えていたりとか、自分が何を学んでいるかが明確になって良いのかなと思います。また、本の紹介も多いといったところで「東書」が良いと思います。

小西教育長　　選定委員会での「東書」と「光村」の比較はどうでしたか。

大橋選定委員会会長 文字の見やすさや色の使い方など、視覚的な部分で見ると工夫があるのは「東書」だと思います。

小西教育長 「東書」の意見が多かったようです。「国語」については、「東京書籍」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「生徒にとって何を学んでいるかが明確になっていて、また色の使い方により視覚的に見やすい作りになっている」とします。

小西教育長 これより「書写」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

小出委員 今年度までは「光村」だったと思うんですが、今回は「東書」ということですね。去年、小学校の採択で選定された中では、教科書に直接書き込めるというのが評価されていたと思うんですが、今年の教科書も「光村」は書き込みができるようです。その辺は評価に出てこなかったんでしょうか。「東書」にはそういった工夫はないかと思うんですが。

大橋選定委員会会長 「光村」は、硬筆の学習に使えるものが別冊でついていると思うんですが、毛筆を硬筆に生かすというのが大切な視点なんです。そういったことを意図して、書写ブックは取り外しができるようになっていて、学んだことを硬筆に生かせるということを工夫してあるんですが、「東書」も教科書の中には「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」ということで硬筆に生かし、教科書に書き込めるところはあります。それから、書写の指導時間は、1年生が20時間、2年生が20時間、3年生が10時間で、教科書が充実しているけれども書写だけに時間をかけるわけにはいかないの、実際使いこなせない可能性が出てくるのではないかと思います。「東書」の教科書で十分練習のページも工夫がしてあるので、そういった意味では指導時数を考えても「東書」の教科書が実態に合っていると思います。

小西教育長 「東書」はコンパクトで分かりやすく使いやすいということですかね。

池田委員 「光村」よりも「東書」かなと思います。どちらも指導そのものについては変わりないと思いますが、「東書」のほうが文字へのこだわりがあるかなという印象は持ちました。良いか悪いかはわかりませんが、生徒にとっては書写というものに興味を持ちやすく作られているのかなと思いました。

中田委員 授業時間数を聞いて、「光村」は実際に使いこなせるのかなと感じました。「東書」は基本の筆の運び方がイラストで示されていて入っていきやすいかなと思いました。

小西教育長 「東書」の方が多いようです。「書写」については、「東京書籍」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「視覚的に見やすく、学習計画も立てやすい作りになっている」とします。

小西教育長 それでは、「社会」の「地理的分野」、「歴史的分野」、「公民的分野」と「地図」について説明をお願いします。

大橋選定委員会会長 「社会（地理的分野）」は「東京書籍（東書）」を選定しました。選定理由としては、学習課題を解決するために、項の学習の最後の見開きページの下部に取り組みべき課題が設定されており、チェックすることで基礎的基本的な内容を確認した後さらに発展的な学習として、「トライ」でさらに学ぶことが

できるという工夫がされています。それから教科書の編・章の学習を貫く大きな課題である探究課題を設定し、課題をつかむ、課題を迫及する、課題を解決するという、課題発見解決学習の流れで構成されていて、その中でクイズ作りなどを楽しみながら生徒が自主学習できる探究的な学習活動も仕組んであります。日本の諸地域の学習の進め方について、地域の特色を捉える視点がカテゴリ一別に示され、7地方の学ぶ視点を示す一覧表があるため分かりやすいというのも特徴です。また、「みんなでチャレンジ」のコーナーではいわゆる協働的な学びということで、他者との協働学習から学ぶことができるような課題が設定されています。各章末での「何々についての学習をまとめよう」、「探究課題を解決しよう」のコーナーで、調べたり考えたりしたことを自分の言葉でまとめる学習も設定されています。全体的にどの章にもぶれなく指導できるように課題設定がされていて、社会科における課題発見解決学習が進めやすい作りになっているところが選定の理由です。

「社会（歴史的分野）」の選定理由を説明します。「東京書籍（東書）」を選定しました。「地理」と作りが同じになるんですけども、各章、各節の学習を貫くいわゆる大きなテーマ、探究課題を具体的詳細かつ明確に示し、さらに一単位時間の学習の中での小さな学習課題も設定されていて、章の終わりには「探究のステップ」において、どのようにまとめたら良いかまとめる手順も示されているところが長所です。二つめの理由としては、「地域の歴史を調べよう」の中で地域の復興と平和への思いの視点から、被爆地広島についての調査を紹介しています。「地理」の教科書と同様になるんですけど、学習課題がしっかり立てられていて、生徒にとって課題発見解決学習が進めやすい作りになっているところが特徴です。

「社会（公民的分野）」は「東京書籍（東書）」を選定しました。「公民」の学習については、これは公民だけではないんですけど、いわゆる「対立と合意」、「効率と公正」といった公民的な見方・考え方を働かせて考察することができる課題が設定されていて、「見方・考え方」のコーナーで具体的に見方・考え方、どのような考え方をしたら良いかが書かれていることが利点です。どの教科もそうなんですけども、見方・考え方を働かせることが重要視されていて、とりわけ公民的分野の学習については、生徒にとっては他の分野と比べると、得意不得意もあるし、少し学びにくい難しい分野なんですけども、単に知識を身につけるだけではなく、思考したり判断したり表現したりさせるための工夫があります。そして、地理的分野や歴史的分野の教科書でも説明させていただいたように、学習課題が明確で何を学べば良いのかということが生徒にとって分かりやすく、いわゆる課題発見解決学習に取り組みやすい構成になっています。

「地図」につきましては「帝国書院（帝国）」を選定しました。選定理由は、色が鮮明で地図が分かりやすい。地図の表記、色、活字、境界線などが工夫されていて読み取りやすい。「帝国」と他者を比較したときに明らかに分かりやすいです。そして最後、地図を学習で活用する場合、「地図本来の機能」を兼ね備えていて、資料として活用しやすいのは「帝国」であるということが一番大き

な選定の理由です。

小西教育長 これより「社会（地理的分野）」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

池田委員 「東書」が良いかなと思いました。それは、資料と文章とのかかわりというか、資料を使って読み進めて行くのが見やすいかなと思いました。他者は資料がすごく多いので見にくいというか整理ができていく感じだったのが、「東書」は読み進めて行く中で見やすいなと感じました。

中田委員 私も「東書」の方なんですけど、各地方でいろんな市役所で働く人の話ですとか高齢でも続けられる仕事とか、それぞれの地域での人々のエピソードなどが充実しているのが「東書」なので、より身近に感じられるかなと思いました。

小出委員 私は「東書」か「帝国」かなと思ったんですけど、両者とも内容的には他者と比較して、情報量も多いし説明も詳しいと思ったんですけど、見開いた時の検索のしやすさですとか利用のしやすさという点では「帝国」の方がより良いのかなと思ったんですけど、内容的には「東書」もすばらしいと思います。

池田委員 関連して良いですか。今の指摘について私は「歴史」の教科書で同じ感想を持ちました。「歴史」も「帝国」は年表もついていて見やすいんですけど、「東書」は年表がついていないので、いつの時代なのかはぐってみないと分からないんですけど、「帝国」は右側に年表がついていて検索がしやすかったんですよ。そういう意味で「歴史」は「帝国」が良いかなと思いました。ただ、「地理」は「歴史」ほどさかのぼりながら学習するようなことはないのかなと思「東書」かなと思います。

小城委員 「東書」と「帝国」との比較で、「帝国」かなと思いました。地図帳は色合いとかも含めて見やすさでは「帝国」が良いかと感じました。「地理」も連動しているのではないかなと思いました。あと、巻頭で昨今SDGsが言われている中で、世界の中での日本の立ち位置に最初のところで触れられていて、興味を示しやすいという点で「帝国」という風に思ったんですけど、皆さんの意見を聴いていると「東書」もありだなと思いました。見やすさでは「帝国」かなと思いました。QRコードもあって自分で学ぶこともできるというしかけも良いかと思いました。

池田委員 QRコードのことが出たんですけど、中学生がどの程度活用するのか。いろんな教科書にQRコードが載っているなと感じたんですけど、携帯電話は学校に持って来ないじゃないですか。タブレットは今度持つようになるのかなと思いますが、授業の中でどのくらい生かされるのかなというのを教えていただけたらと思います。

大橋選定委員会会長 小学校の教科書は今年から使っています。やはりデジタルコンテンツは入っていて、今回の休校中に学校から家庭での学習をする時に、それを使った学習を勧めるといった働きかけをするのには学校としては非常にやりやすかったの、家庭学習で使うには中学生では簡単にクリアすることではないかなと思います。ただ、内容の吟味まではできていないので、実際に何個か見てみたんですけど、役に立つものもあればそうでないものもあるというところで、これから教科書会社も研究を重ねていくところだと思います。

小西教育長 選定委員会で「東書」と「帝国」の評価の比較はどうだったのでしょうか。

大橋選定委員会会長 調査員の報告では、「東書」は巻末の資料が充実していて、最後を見ると分かると思うんですが、統計資料ですとか用語の解説といったものがついているので、自分で調べたり家庭学習等で活用するには良いのではという意見でした。あとは個人差があると思うんですが、文字の太さや濃さとか色使いが「東書」の方がやや柔らかい感じで、「帝国」はわりとはっきりしていて読みにくいという違いが明らかにあります。

小西教育長 「東書」の意見が多いようです。「社会（地理的分野）」については、「東京書籍」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「巻末の資料が充実しており、生徒が学びを広げていくという点において有効である」とします。

小西教育長 これより「社会（歴史的分野）」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

池田委員 私も最初「東書」が良いと思っていたんですが、「地理」もそうだったんですが、振り返りというかまとめの活動がそれぞれついているので、それまで勉強したことがどうだったんだろうというのが確認できるのは「東書」だと思いました。先ほども言いましたが、歴史なので振り返ってみるときに年表というか、今どのあたりを学習しているのかとかそういう部分が教科書にきちんと位置付けられているほうが学習を進めていく上では見やすいのかなと思って、そういう意味では「帝国」のほうが右側に年表がついているので良いのかなと思いました。もう一つは、「現代」がどこまで載っているかが教科書会社によってちょっとずつ差があるように思います。そのあたりのことが明確にあれば教えてください。それから、江戸時代の身分のところの表現にも違いがあったので、そのあたりが話題になっていけば教えてください。

大橋選定委員会会長 ご質問の二点に関して、選定委員会では話題に出してはいません。調査員の報告の中にもご質問に特化した報告はありません。先ほど説明したように、被爆地広島についての調査の紹介は「東書」にはありますが、「帝国」は戦場になった沖縄についての説明はありますが広島について触れたところはないというのが調査員の報告で上がっています。

小西教育長 「現代の扱い」と「江戸時代の身分制度」については、選定委員会では深く協議はしていないということでしょうか。

事務局 選定委員会では、その部分に特化した協議にはなりませんでした。

小城委員 「東書」と「帝国」で見えていたんですが。「東書」の方がその章の振り返りのときに、いずれ世界史を学ぶようになることを考えた時に、日本史に加えてアジアや欧米の年表もついていたので、「東書」が分かりやすく良いかと思いました。それと、どの教科書も書き込むところがいろいろあると思うんですが、答えは指導者用にはあるのでしょうか。

大橋選定委員会会長 指導書の中には解答例というものはあります。

中田委員 「東書」が良いかなと思いました。見た時の目に入る感じが、個人差があると思いますが一番見やすいかなというのがありました。広島のことについて一番取り上げられているのも「東書」かなと思いました。

小 城 委 員 内容的には「東書」が良いと思います。

小西教育長 「社会（歴史的分野）」については、「東京書籍」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「巻末の資料が充実していて分かりやすく説明している点において、生徒が学習を進めやすい」とします。

小西教育長 これより「社会（公民的分野）」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

池 田 委 員 個人的には「帝国」も良いかと思ったんですが、生徒の立場になってみると自分で学習するという力をつけようとする、「東書」のほうがとっつきやすく導入にも工夫があつて、まとめにも工夫がされているというのが見られるかなと思います。

中 田 委 員 「東書」が視覚的というか、なじみやすいのかなと、生徒の視点からすると「東書」がなじみやすいのかなと思いました。

小 出 委 員 「東書」が良いのかなと思いました。各者とも研究しているのでだいたい似たような構成と説明になっているんですけど、その中でも文字をピックアップしてある説明書きを見たら、例えば民主主義の多数決の原則であるとかメディアリテラシーについてとか憲法改正や裁判員制度などの記述を見ると、相対的に「東書」の説明が詳しく思ったように思います。

小 城 委 員 「東書」か「日文」かなと思って見ました。一つの単元で見比べた時に、例えば「日本の領土」で見た時に「東書」の方が絶対的にきれいにまとまっていると思ったので、やはり「公民」というのは公のことを学ぶということを考えれば「東書」が良いのかなと思いました。

小西教育長 「社会（公民的分野）」については、「東京書籍」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「導入やまとめが工夫されていて、主体的な学びが実践しやすい作りになっている」とします。

小西教育長 これより「地図」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

池 田 委 員 先ほどの説明の中にあつた、「地図本来の機能」とはどういう物を示しているのでしょうか。

大橋選定委員会会長 「地図帳としての機能」と言った方が適切かもしれません。「東書」は地図帳本来の機能よりもややそれに類似した資料等も多く、「帝国」は、はっきり言えば地図が見やすいというのが大きな特徴かと思います。見比べていただくとよく分かると思いますけれども、大きいから見やすいということもあるかと思います。選定委員会では、地理の教科書と同じ出版社が良いのではないかという意見もありましたけども、同じでなくても困ることはないのではということで「帝国」を選定しました。

池 田 委 員 「帝国」が見慣れているということもあつてか、見比べると読みやすいと感じます。だんだん教科書が大きくなっていて、さらに地図帳が大きいのでこれまでの大きさの物でも良いのかなとちょっと思ったので。ただ、色使いとかを見ると「帝国」の方が地図としては良いのかなと思います。

小 出 委 員 「帝国」が内容的に良いのかなと思います。鳥瞰図を比べてみると圧倒的に立体感とか都市名が入っているというところで差があるのかなと思います。

中田委員 市街地とか田畑の色分けを地図上でなされているのが「帝国」で、「東書」は果樹等のイラストは入っているんですけど、そのあたりの見やすさは「帝国」かなと思いました。

小西教育長 「地図」については、「帝国書院」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「鳥瞰図の見やすさ、土地利用の表記や説明が詳細である」とします。

小西教育長 それでは、「数学」について説明をお願いします。

大橋選定委員会会長 「数学」につきましては「学校図書（学図）」を選定しました。選定理由としては、それぞれの単元の最初に「Q（クエスチョン）」が示されておりその隣にポイントとなる見方・考え方が明示してあり、以後の学習で大切なポイントを抑えることのできる工夫があります。小数や分数を含む方程式では、回答欄の枠内に吹き出しを設けて手順を明記し理解を助けています。具体的には生徒の対話の形で、これは随所にあるんですけども、吹き出しの形であったりとか、それから、順番が前後するんですけども、「学図」を選んだ理由としては、基礎基本をきちんと抑えた構成になっていて、練習問題の数が多いことも特徴です。どの教科書も当然練習問題は載っているんですけども、その数がやや多いというところが特徴です。それから、数学的活動のページでは、課題発見解決学習の過程を意識して、具体的な活動が示されています。それから全ての「Q」のところには、生徒のつぶやきや疑問が吹き出しの形で示されていて、生徒の話し合い活動を意識した構成になっているところも特徴です。

小西教育長 これより「数学」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

小出委員 「啓林館」が良いかと思いました。進学して算数から数学に変わり毛嫌いする生徒も多く出てくると思うんですが、数字や文字の羅列ではなく、いかに頭の中で数式をイメージして解決できるかということが大事なかと思うんですけど、色あいや文章や数式が多くて、その分「啓林館」は写真や図解とかの色使いや立体的に見せたり、問題をイメージして解決できるような工夫がされているのかなと思ったのと、巻末のまとめのコーナーといった応用・発展問題が多く記載されているので「啓林館」が良いのかなと思いました。

大橋選定委員会会長 現在は「啓林館」の教科書を使っています。小学校も同様ですので、同じ教科書の方が学びやすいということは予想されますが、今回、何といても話題になったのが教科書の形状です。「啓林館」は、巻末から始まる資料がついています。これが非常に使いづらくマイナス点ということで、「啓林館」が選定されなかった一番大きな理由です。巻末から始まるのは、「自分から学ぼう編」なので、恐らく自分で学習をしていくということを重要視したものになっていると思うんですが、これが逆に扱いづらいだろうという調査員の意見です。

中田委員 「啓林館」は巻末が充実しているなど感じて、「向き」はあまり気にならず面白いなという視点で見たので、先生方はそうなんだと感じました。それと、ノートを取り方について、「啓林館」は見開きで1ページをとっていたので、そこが面白いなと思いました。

池田委員 「啓林館」が良いと思っています。それと「数研出版（数研）」の別冊も面白

いなと思ったんですね。学習したことをどれだけ力がついているかを試すという部分で、「学図」は計算力を高めようという形でしかないというのが、「啓林館」は文章題もあつたりさらに巻末で力をつけようということで、復習の時に別のもので自分がどれだけ力がついているかを確かめるという意味で、授業の流れとは別個に巻末から使っていて力試しができるような作りになっているのかなと、授業の流れで使うのには差がないかと思ったんですけど、力をつけるという最後のところでは「啓林館」の方が充実しているのかなと思います。調査員の報告の中にも、「自分から学ぼう編」では力をつけようと学びを生かそうという2種類が設定されるなど習熟度に応じて学び直すことができる」とありますが、そのあたりはどうだったのかなと思います。

小西教育長 答申では「学図」ということで、現場の教員が使いやすいという思いだと思います。委員からは、生徒一人ひとりが自分で学んでいくといったところでは「啓林館」が工夫しているといった意見が出されました。また、写真等がたくさん使われていて見やすいといった意見がありました。

小 城 委 員 「啓林館」が良いなと思ったのは、中学校から高校へと進学していく中で問題集とか参考書を手にするようになると思うんですが、自分の経験からでもあるんですが「啓林館」のほうが見やすかったと感じました。教え方、学び方、教えられ方といった視点があると思うんですが、一番まとまっているのが「啓林館」かなと、あと、仕掛けというか「向き」を変えたようなやり方もまた、問題数が少ないのも良いなと思いました。やっぱり、少ない問題でも生徒に達成感を持たせるという意味でも、ここだけはちゃんとできた、これがその後の勉強方法にもつながっていくのではないかと思いましたので「啓林館」の仕掛けは面白いなと思いました。

小西教育長 「学図」と「啓林館」について、選定委員会で何か意見などはありましたか。

大橋選定委員会会長 「啓林館」はやはり指導しづらいというのが調査員の正直な意見だったと思います。

池 田 委 員 「啓林館」の巻末のQRコードは何の情報が表示されるのでしょうか。回答は別にあるようなので、発展問題などが表示されるのでしょうか。

事 務 局 ヒントが出た後に回答が表示されるようです。

大橋選定委員会会長 方程式、証明の手順、そのあたりで言えば「学図」は分かりやすく説明してあるところが長所ですが、「啓林館」はやや分かりにくいということは調査員の報告からは上がっています。あと、調査報告の観点から、今回からデータの活用が必要というのが算数・数学に新しく入ってきているんですが、データのばらつきを表現するいわゆる箱ひげ図の扱いを比較したときに、調査員からは「東京書籍（東書）」と「学図」は非常にわかりやすいという報告が上がっていました。

中 田 委 員 どうしても数学は「啓林館」というイメージが強いんですが、表紙が温かい感じがして数学っぽくなかったので視覚的に入っていきやすいと感じました。逆に「学図」は、表紙が数学というイメージがしましたが、説明を聞くと生徒に対する呼びかけとか吹き出しを使った構成などは生徒に対して優しいのかな、

入りやすいのかなと感じました。

小西教育長 両者を比較して、「学図」の方が入りやすいという意見ですね。

中田委員 連立方程式の解き方を比較してみたんですが、回答が手書き風になっているのと経過の式が詳しくてより分かりやすいというのがあるかと思います。

大橋選定委員会会長 大竹市の生徒の実態がどうなのかということだと思うんですけど、数学の苦手な生徒にとって手順が細かく丁寧に示されていてわかりやすいのは「学図」なので、やはり最初に説明したとおり基礎基本の力をつけるということであれば「学図」の教科書が優れているのではないかなと思います。あと、イラストや吹き出しといったものも興味関心を持たせる工夫はありますし、「啓林館」はどんどん自分で学習を進めていく生徒には適しているのかなと思います。それはそれで良さがあるのではないかと思います。大竹市と廿日市市の数学の教員が生徒に力をつけるためにはどの教科書が良いだろうかという調査の中で「学図」の利点が挙げられたということです。

小西教育長 生徒の実態を見ながら、指導する立場から基礎基本の定着を図るための工夫というのがあって、指導しやすいのではないかという説明ですね。

大橋選定委員会会長 今回の臨時休業の際に、小学校も中学校も予習を取り入れて家庭学習を進めていくということが必要だったんですけど、そういった意味ではノート書き方の例示などを参考に家庭で予習する時の理解を助けるものになるのではないかと思います。今回の休校では本当にどう予習させるかということをもどの学校も工夫が必要だったところですけど、これからは予習もしやすい教科書を選んでいくということも必要かなと思います。

小西教育長 今後、今年のような臨時休校もあるだろうし、自主的に学んでいけるようにという意見だったと思います。

池田委員 「啓林館」の問題集が良いかと思っていたんですけど、その部分は問題集とかで補うことができるかと思います。中田委員の意見で、一つひとつの学習の進め方はどちらも同じようだと思って見ていたんですけど、丁寧にみていくとやはり低学力の生徒にとってより分かりやすく丁寧に、補助線や細かな考え方が書いてあるのは「学図」なんだなと改めて感じました。もし休校になり教科書を使って自分で学習を進めようと思った時には、「学図」のほうが低学力の生徒にもついていきやすい作りになっているのかなということを感じました。

小西教育長 「学図」と「啓林館」の2者の良さについての意見が出ましたが、基礎学力の習得という点を重視して、「数学」については、「学校図書」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「解答までの過程について詳しい記載があり、基礎基本を身につけようとする生徒にとって理解しやすく分かりやすい」とします。

小西教育長 それでは、「理科」について説明をお願いします。

大橋教科書選定委員会会長 「理科」につきましては「東京書籍（東書）」を選定しました。選定理由ですけれども、「理科」に関しては、欠点はなく突出して長所が多いという調査結果でした。具体的には、探究のフローチャートで探究の過程が明確化されており、「課題に対する自分の考えは？」、「調べ方を考えよう」、「考察し

よう」など、それぞれの探究の過程に直結した言語活動が配置されています。それから、各ページの左下に、今どの過程を学習しているのかわかりやすく図式化がされています。今実験だとか、分析解釈だとか、そういったことが教科書の左下を見れば分かるような工夫があります。次に写真とモデル図の構造を工夫し、粒子概念で見るとその概念を理解しやすい工夫がされています。他者と比較したときに、実験等の安全に関する指導も丁寧に扱っています。

小西教育長 これより「理科」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

小出委員 「東書」が良いと思います。縦長の形が特徴の教科書と思うんですが、同じページ数でたくさんの情報量を計上しようとした時にやはり左から右に見てそして上から下に見た時に独特な縦長の形状というのが情報量を多く盛り込めるのかなと思いますし、実際に説明も詳しくて、あとは單元ごとの学習のまとめのコーナーがより詳しく充実していると思いますので「東書」が良いかなと思います。

中田委員 主に「東書」と「啓林館」で見比べたんですが、まず「東書」の形が斬新で表紙もキャッチーな感じで、中身も理科の教科書っぽくなくて、レポートの書き方が要所で出てくるのが面白いなと思いました。「啓林館」はすごく題材の写真が鮮やかで天体のところとかもパッと開きやすい、それぞれの単元の写真とかもすごく鮮やかで良いなと思ったんですけど、今までになく印象に残りました。

池田委員 「啓林館」が良いかなと思って見ていたんですけど、「東書」の教科書が縦長であることによって、1ページであるいは見開きで完結できたりしている部分が縦長にしてある意図なのかなと感じました。生徒が見るときに1ページあるいは見開きページで、それぞれの実験であったり観察が完結できているのかなと思いました。「啓林館」はきれいで見やすいかとは思いますが。

小出委員 單元ごとの学習のまとめと問題が、「啓林館」と「東書」と「大日本図書」が巻末に6ページほど割いているんですね。「東書」が良いのかなと思います。

小西教育長 「理科」については、「東京書籍」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「形状に工夫があり、学びやすく情報量も確保されている」とします。

小西教育長 それでは、「音楽」の「一般」、「器楽合奏」について説明をお願いします。

大橋選定委員会会長 「音楽（一般）」は「教育芸術社（教芸）」を選定しました。選定理由としては、題材ごとにまず大きなねらいがあり、そのねらいに基づいてさらに具体的な学習課題が示してあり、生徒が見通しをもって学ぶことができます。二つめの理由としては、音楽を形作っている用語とか記号とかリズムとか音色などの共通事項が楽譜とともに説明されていてわかりやすいということです。三つめ、学習の仕方がきめ細かく丁寧に扱われていて学びやすい。全校合唱ふるさととは難易度が高すぎず、四部合唱は難易度が高すぎて必要ないだろうということで、「教芸」は難易度が高すぎず学びやすいということで、生徒にとっての学びやすさということで「教芸」を選定しました。

次に、「音楽（器楽合奏）」ですが、「一般」と「器楽合奏」については、特に劣るようなところがなければ同じ発行者の方がベストだと思います。その視点

で見たときに、それぞれ長所や欠点があるものの、「教芸」は学習を深めるポイントが分かりやすく提示されていて学びやすさでは優れています。各楽器もバランスよく取り上げられています。ギターのダイアグラム、いわゆるコード表ですけども、「教出」は写真で、「教芸」はイラストで示されていますが、イラストの方が押さえる弦が分かりやすくて良いだろうということも理由とされています。そして、器楽演奏を学ぶ中学生にとって学習の仕方が丁寧に示されていて学びやすいというところも利点です。和太鼓を学ぶことが多い大竹市の生徒にとって、打楽器の扱いについても丁寧であるというところも選定の理由として挙げられています。

小西教育長 「音楽（一般）」、「音楽（器楽合奏）」については、同じ発行者が良いという会長からの説明がありましたので、一緒に考えたいと思います。「音楽」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

中田委員 「教芸」が、リコーダーの解説についても詳しくてわかりやすいなと思いましたし、通常の音楽だけじゃなく、Jポップやジャズなどに関しても生徒になじみの深いジャケットの写真があったり幅広い感じがあって良いかなと思いました。

池田委員 「教芸」は、一つひとつの楽器にしても学習の目的にしても丁寧な説明が添えられていると思いました。生徒が取り組みやすい内容になっているなと思いました。

小西教育長 「音楽」については、「一般」、「器楽合奏」ともに「教育芸術社」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「興味関心を引く工夫があり、また説明が分かりやすく丁寧に明記されている」とします。

小西教育長 それでは、「美術」について説明をお願いします。

大橋選定委員会会長 「美術」は「光村図書出版（光村）」を選定しました。選定理由としては、一つめ、全体的にすっきりとした構成になっています。字色を変えての囲んだ記事などレイアウトの工夫もあります。QRコードでの指示も明確で動画や参考作品、制作工程、作品解説などが見られます。一つの題材の中で表現と鑑賞を一体的に学べるような構成となっています。学習の流れもわかりやすいです。話し合いを促す記述が多く、どの題材も最初に鑑賞が入るため、自然と言語活動が活発になります。話し合っただけで見方や考え方を広げるという項目もあります。全体的に生徒がねらいを明確にして学びやすいところは「光村」の良さです。

小西教育長 これより「美術」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

小出委員 「光村」が良いかなと思ったんですが、美術の一つの大きな目的として、生徒に本物の作品に触れさせて感性を磨いて創作意欲を喚起するというのが目的だろうと思うんですが、そういった面ではこの「光村」の教科書は、非常に芸術作品も多く載せてありますし、見開きを使って効果的に配置してあるかなと思ったんですが、他の教科書を見た時にせつかく見開きなのに文字の解説だったりしてすごくもったいないなと思うところがあります。そういった意味でも「光

村」が良いと思います。

池田委員 最初「開隆堂」の最後の「学びの資料」のコーナーで、焼き物だったりのこぎりの使い方であったりという部分はすごく丁寧に取り扱っているのですが、これが良いかなと思ってはいたんですけど、単元の部分で見ると、小出委員が言われたように、本物の絵が載せてあったり、一つひとつの作品の取り扱い方は「光村」の方が良いかなというところなんですけど、技術の部分は指導の中で補うことが可能なかなと思って、単元構成から見ると「光村」の方が良いかなと思いました。

小西教育長 「美術」については、「光村図書出版」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「本物の作品に触れることにより創作意欲を喚起するという点において、また単元構成が良く創作活動の充実が図れる内容である」とします。

小西教育長 それでは、「保健・体育」について説明をお願いします。

大橋選定委員会会長 「保健・体育」は「学研教育みらい（学研）」を選定しました。選定理由としては、学習の流れの中で、グラフや資料、写真が効果的に配置されているので身近な課題について生徒が自ら学び自ら考えることができるような工夫がみられます。生徒の発達段階を踏まえた身近な問題や自他の問題に取り組めるように学習指導要領に示された内容を基に学年別に構成されています。最後、生徒が自分の生活に結びつけ、切実に課題に取り組める内容になっています。

小西教育長 これより「保健・体育」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

池田委員 身近な問題を取り上げるという部分で、中学生のストレスという部分を中心に教科書を見ました。「東京書籍（東書）」と「学研」が取り扱いが多かったんですけど、「学研」の方が心の発達というところを多く取り上げているというのを思いました。

小西教育長 今の意見は、今日的課題であるストレスであったり心の発達についての記述では「学研」が良いのではというご意見でした。

小城委員 どれも甲乙つけがたいなと思うんですが、考えさせられる内容が分かりやすく記載されているのが「学研」なのかなと思います。「学研」が良いかなと思います。

小西教育長 「保健・体育」については、「学研教育みらい」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「心の発達について多く取り上げられている」とします。

小西教育長 それでは、「技術・家庭」の「技術分野」について説明をお願いします。

大橋選定委員会会長 「技術・家庭」の「技術分野」については「開隆堂出版（開隆堂）」を選定しました。学習に対する関心や意欲を高め、何を学ぶかを意識させるガイダンスが充実しています。ガイダンスにおいて技術を学ぶ意義、学び方について丁寧に記載されています。また、技術の見方・考え方、技術の最適化についても丁寧に説明があり、技術を学ぶ本質的な意義について気付かせるよう工夫があります。次の理由としては、高校の学習内容につながるコンピュータの基

本操作の学習を丁寧扱っています。最後、技術の専門性という視点では、水産資源、工場地帯があるという大竹市の地域の実態を生かしながら学ぶことができる教科書であるということが理由として挙げられています。

小西教育長 これより「技術分野」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

池田委員 「教育図書（教図）」の技術ハンドブックというのが面白いなと思いました。いろんなものの取り扱いやプログラミングだとか、別冊になっていて、私としては良いかと感じました。それから、プログラミングとかコンピュータとかをどういう風に扱っていくかというのが教科書の中心になるのかなと思って見ていたんですけど、コンピュータの部分は「開隆堂」の方がすごく丁寧に扱ってあるんですけど、プログラミングということで行くと「教図」なのかなと思ったんですけど、そのあたりどちらが重点的に扱うのかよくわからなかったんですけど、コンピュータとプログラミングは一緒か、別かというのを教えていただけたらと思います。

大橋選定委員会会長 プログラミングとコンピュータの取り扱いの違いというのは特に話はないかと思うんですけど、コンピュータの操作についてはやはり高校につながる基礎的な力をつけるという視点では大変重要な内容なので、そこを丁寧に扱っているの、「開隆堂」が良いという意見でした。

池田委員 教科書に載っているコンピュータの操作って、昔は技術の授業で初めて触れるという感じだったんですけど、今は小学校からタブレットやコンピュータを使っている中で、ここですごく丁寧に取上げて、もう一度やらないといけないのかもしれないんですが、この部分だけがすごく詳しいのはどうなのかなと、それよりもプログラミングの方が重要なのかなと。技術の学習指導要領の内容との関連はどうなのかなと、プログラミングの内容は「開隆堂」よりも「教図」の方が丁寧なように思いました。学習指導要領の中でどのような取り扱い方になっているのかが勉強不足で分からないのですが。

小西教育長 そのあたりを重点的に比較して見られた方はおられますか。

小城委員 意識して見るようにはしたんですけど、プログラミングというものを授業の中でどれだけ伝えることができるのかという思いをしたんですけど、昨今は当たり前前の時代になってきてますので、どの教科書も基本的には載っていると思うんですけど、プログラミングのところだけでどの教科書が良いと判断は難しかったです。全体的に見た時に、「教図」の方が見やすさとか表記の仕方とか、その辺の統一感があったように思うので良いのかと思ってました。その他はハンドブックも良いかと思えます。

中田委員 プログラミングについて詳しく記載があるんですけど、どこまで実践できるのかということところが、逆に生徒がどこまでできるかというのが、今から必須になってくるのかもしれないんですけど、そこまで詳しく掘り下げるべきなのか、範囲も広いのでどこまで求めるのかということところが教科書選択も決まってくるのかなというのはあるんですけど、逆に技術の先生がどこまでプログラミングに精通していらっしゃるのかということところにもかかわってくるのかなとも思うので、詳しくすぎると難しいのかなと感じました。入門編という観点で見るとあま

り深くない方が教える側も教えられる側も良いかなと感じました。

大橋選定委員会会長 「技術・家庭」は1年生で70時間、2年生で70時間、3年生は35時間なので、それで教科書全てを網羅して学習することは難しいので、その中で何を指導計画に取り入れるかということになると思うんですけど、実際今使っている教科書でもプログラミングに関わる学習はしていますので、特に新しく入ってきた内容ではないとは思いますが、新しい学習指導要領では小学校からプログラミングが取り入れられたことでクローズアップされ注目されているところでもあるとは思いますが、申し上げたように時間の制約があるのでそこまで専門的に詳しく扱うことは不可能なんじゃないかと思います。ただ、高校への接続という部分については中学校でしっかり役割を担っていかないといけないと思いますので基本的な概念というのはしっかり身につけていかないといけないと思いますし、そのためにはどの教科書が良いかということになると思います。

小出委員 木材や金属の加工についてのところで、用具の説明とか特性の説明であるとか、そういった部分では「開隆堂」が一番詳しいので良いかと思います。

小西教育長 高校へのステップの扱いがしっかりできているという点では、「開隆堂」が良いという意見が出ました。また、「教育図書」については、技術ハンドブックが一つの売りだろうという意見がありました。限られた授業時間で生徒の課題を見極め、強弱を付けながら指導していくという視点では、「開隆堂」の教科書が良いのではという意見でした。「技術」については、「開隆堂出版」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「生徒の実態に応じて指導の重点化がしやすい」とします。

小西教育長 それでは、「技術・家庭」の「家庭分野」について説明をお願いします。

大橋選定委員会会長 「技術・家庭」の「家庭分野」については「東京書籍（東書）」を選定しました。選定理由は、一番の目標だと思うんですが、生活の課題への適応ということで、生活の課題と実践の具体例が12テーマ示してあり、選択の幅が広いということです。それぞれのテーマの学習の流れも分かりやすく提示されています。実態に応じて選択することが可能です。また対話的協働的な学習を展開するためのいわゆる思考ツールの紹介や具体的な実践例の紹介により、学びを深め課題解決を家庭だけでなく、社会にもつなげていくという展開の工夫があります。二つめ、高齢者の身体の特徴における高齢者との関わり方では、これは学習指導要領で実際に扱うことと示されているんですけども、実際の介助の仕方を資料の図によって理解しやすく示されています。次に技能的な面ですけども、包丁の持ち方、食材の切り方等が絵や写真を使って丁寧に説明してあります。またページの下に定規がついているのでおおよその長さのイメージがつけやすい工夫もあります。技能を身につけるには非常に適していると思います。最後、日常生活へのつながりや現代社会へ課題への直結ということが大切だと思いますが、その点からも生活に生かしやすい内容で構成されています。

小西教育長 これより「家庭」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

池田委員 生活の課題と実践がどれだけされていくかという部分が、やはりそこに結び

つく教科であろうかと思しますので、そういう意味では生活の課題と実践の進め方という最後の部分が「東書」がとても丁寧に、流れも最後の思考の部分も丁寧に取り扱いされているかなと思いました。

中田委員 生活に直結するという点で、調理のところに目が行ったんですが、献立のところに単品ではなくいくつか組み合わせて調理する時の手順例とかが時間を追って書いてあるのも面白いと思いましたし、より生活に直結するというか、他のところも詳しく書いてあるんですがそういった違いがあるんで「東書」が良いかと思いました。

小出委員 調理実例のところで、「東書」は素人がみても調理ができるように思うんですが、他の教科書は料理の経験がない人には難しいのかなと感じたんで、生徒が学ぶには「東書」が良いかなと思いました。

小西教育長 「家庭」については、「東京書籍」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「日常生活へのつながりや社会の課題に直結するなど、生徒自身の生活に生かしやすい内容になっている」とします。

小西教育長 それでは、「英語」について説明をお願いします。

大橋選定委員会会長 「英語」については「東京書籍（東書）」を選定しました。選定理由としては、小学校からの接続ということが、今年度から小学校でも「外国語科」が導入されましたので、一つの大きな視点だと思いますが、一学年の「Unit 1」から「Unit 5」までが小学校からの接続を意識した流れになっていて、それぞれのUnitの「Enjoy Communication」では、小学校で学習した重要文型が短い対話に盛り込まれていて、小学校での学習を振り返りながら学んでいくという作りになっています。小学校の「外国語科」でも現在「東書」の教科書を使用していますので、小学校で学んだ内容がスムーズに接続されることが期待されます。大きさがA4版で、理科の教科書と同じねらいで縦長にすることで、生徒の視線の動きを意識した作りになっていると考えられます。書体も他の教科書と比べて少し手書き風の文字を意識した書体になっているので生徒にとっては見やすい書体だと思います。そういった基本的なことを重視しながらも、一方では3学年最後の「Stage Activity」では、Mini Activity, Unit Activity, Stage Activity と段階が上がっていくんですけども、最終段階の Stage Activityでは、「Let's Have a Mini Debate」で主張とその理由を明確にしながらいびをすることができるという GOAL でディベートの手順が示されています。取り上げられている論題は、「Japan is a good country to live in」で、ここのディベートを通して3年間の学習の総まとめができるという、非常にレベルの高い言語活動も設定されています。最後に、文法を丁寧に学ぶための視覚支援それからステップが示されていて、広島を取り上げていて地域の題材も取り上げられていて、読み物として読み応えのある内容も掲載されています。

小西教育長 これより「英語」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

池田委員 「東書」が良いかなと思いました。小学校とのつながりが非常に丁寧に取り

組まれている内容であるということ、最後の「CAN-DOリスト」の部分が非常に丁寧に細かく書かれてあるのでどこの単元でどこを振り返れば良いかという部分がはっきりとしているのが「東書」かなと思いました。

中田委員 小学校からのつながりという部分で「東書」が良いと思います。特に、1年生の教科書だと下に小学校の単語が丁寧に書いてありますし、小学校の教科書と同じ方が中学校に入っても同じ流れで学習しやすいのではないかなという風に思います。

小西教育長 「英語」については、「東京書籍」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「小学校からの学習の接続が円滑にできる」とします。

小西教育長 それでは、「道徳」について説明をお願いします。

大橋選定委員会会長 「道徳」については「日本文教出版（日文）」を選定しました。選定理由としては、教材の終わりに発問が2問示されており、まず「考えてみよう」で道徳価値を高めるための中心発問、その後に「自分にプラスワン」で自分との関わりについて考えることのできる深めるための問いがあり、考え議論する道徳にふさわしい発問の提示になっています。二つめの理由としては、別冊として「道徳ノート」があり「特別な教科」であることで当然評価もしていくわけなんですけども、記述による評価ということであれば、生徒の記述したものを基に評価するというのも一つ大きな視点になるんですけども、その評価に生かしやすいという利点があります。またこの「道徳ノート」では自分の考えを書くだけでなく友達の意見や話し合いをメモする欄もあり、そのことによって多面的多角的な見方を養うことができます。それから、登場人物が巻頭で題材名の下のところ写真で登場人物が示されていて、登場人物がだれかというのがあらかじめ生徒が構えをもって教材に出会うことができるので、読解のための教科ではないので読解を助けるという意味では小さなことですが大変大きな支援だという風に考えられます。

小西教育長 これより「道徳」の質疑に入ります。質疑はありませんか。

小城委員 「教育出版（教出）」と「日文」で最後悩んだんですが、その中で「日文」の「道徳ノート」の効果があるんじゃないかと思いました。自らを振り返ってみてプラスアルファで考えるということが、道徳心を養うのには大切なことかなと思いました。あとは見やすさ読みやすさも良いかなと思いました。

中田委員 「日文」は道徳ノートがあるのが良いと思いました。「プラットフォーム」というところで、1年生の最初の方に「いじめって何」ということで詳しく載っていたり、「感情と上手に付き合おう」ですとか、日常生活に直結したものが要所で入ってくるのが、情報モラルとか今の生徒に身近な問題が出てくるところが良いなと思いました。表題の「あすを生きる」というのも良いなと思いました。

小出委員 「日文」と「教出」と「東京書籍（東書）」で迷ったんですが、やはり「道徳ノート」が特徴的なところで、皆で話し合ったりとかそういう中で自分自身が考え方を整理したり自分で答えを出したりすることに役立つのかなと思いました。

て「日文」が良いのかなと思うんですが、「東書」や「教出」も歴史上の人物だったりスポーツ選手の参考資料が載ってあって、どうやって課題を乗り越えてきたのかがあるので捨てがたいなと思いました。

池田委員 「日文」が良いと思います。特に「道徳ノート」が非常に中身が充実しているかなと思います。一つの資料について2ページがとってあるという部分と、他のところは記録するところはあるんですが、ただ記録をするだけという形になっていて、細かく分けられていない部分があるんですけど、「日文」は自分の意見、友達の意見、そして、道徳で一番大事なのはこれから自分がどうしていくかという部分だろうと思うんですけど、じゃあ自分がどうしていくかを書く欄がありさらに振り返りを示されるというのがあって、生徒にとっても教員にとっても「道徳ノート」がすごく生かされるのではないかなと思って「日文」が良いかなと思います。

小西教育長 「道徳」については、「日本文教出版」ということで確認したいと思います。採択理由は、答申に記載されている理由のほかに、「道徳ノートは生徒だけでなく、指導者側にとっても効果的に活用できる」とします。

小西教育長 これをもって質疑を終結します。令和3年度大竹市使用中学校用教科用図書の採択については、「国語」は「東京書籍」、「書写」は「東京書籍」、「社会（地理的分野）」は「東京書籍」、「社会（歴史的分野）」は「東京書籍」、「社会（公民的分野）」は「東京書籍」、「地図」は「帝国書院」、「数学」は「学校図書」、「理科」は「東京書籍」、「音楽（一般）」は、「教育芸術社」、「音楽（器楽合奏）」は「教育芸術社」、「美術」は「光村図書出版」、「保健・体育」は「学研教育みらい」、「技術・家庭（技術分野）」は「開隆堂出版」、「技術・家庭（家庭分野）」は「東京書籍」、「英語」は「東京書籍」、「道徳」は「日本文教出版」とします。異議ありませんか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 異議なしと認めます。よって、本件は可決されました。
なお、説明員の大橋綾子小方小学校・小方中学校校長はここで退席します。

議案第35号 令和3年度大竹市使用特別支援学級用教科用図書の採択について

小西教育長 日程第4 議案第35号「令和3年度大竹市使用特別支援学級用教科用図書の採択について」を議題とします。事務局から説明を求めます。

事務局 特別支援学級で使用する教科用図書のうち、学校教育法附則第9条の規定により、図書の選定について、当該児童生徒の教育課程において検定教科書を使用することが適当でない場合は、文部科学省著作教科書や一般図書といったほかに適切な教科用図書を使用することができるとされています。

この9条図書について、各学校では学校長を中心に教頭、特別支援学級の担任、特別支援コーディネーターによる選定会議を設置し、児童生徒の実態に合わせた適切な教科書の選定を個別に行いました。

各学校が選定した教科書を使用するためには、使用する前年度の8月31日までに教育委員会において採択することとされているため、各校から教育委員会へ提出された選定教科書の報告に基づき、「令和3年度使用特別支援学級用教

科用図書」の一覧を作成し、議案として提出しましたので、審議をお願いいたします。

小西教育長 これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

池田委員 「保健」で、「運動が得意になる43の基本レッスン イラスト版体育のコツ」というのがありますが、「保健」なんですか。「運動」のように思うんですが。

事務局 種目でいえば、「保健」になります。

池田委員 内容は「保健」になるのでしょうか。教育課程の作り方にもよると思うんですが。「保健」の教科書として内容がふさわしいのでしょうか。

事務局 先ほどの検定教科書にもあったんですが、球技のところで「必要な動きを身につけるためにはどんな練習が必要か」というのがあって、技能とか技術とか戦術とか作戦とかそういったものを考えるという内容があるんで、恐らく「保健」の内容として当てはまるのかなと思います。

小西教育長 学校が組む教育課程の中の位置づけとなるんですね。

事務局 そうです。

小西教育長 他に質疑はありませんか。

委員一同 なし。

小西教育長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結します。本件を採決します。本件は原案のとおり可決することに異議ありませんか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

～以上、議案第34号、議案第35号の審議は非公開（議事録は公開）～

小西教育長 以上をもって、本日の日程は全て終了しました。

これにて、令和2年第8回大竹市教育委員会を閉会いたします。

【閉会時刻 16時50分】

.....